

第5章 とりたて：語・句・節の焦点化と非焦点化

野田尚史

1. とりたての概観

この節では、とりたてを表す言語形式について、形態論、意味論、統語論の観点から概観する。

1.1 とりたてとは何か？

とりたてというのは、語や句や節を焦点化したり非焦点化したりする機能のことである。英語の *only* や *too*, *even* が持っているような機能である。

(1a)はとりたてが行われていない文である。(1b)は(1a)の「楽しかったこと」に「だけ」というとりたて助詞が付加され、「楽しかったこと」に対してとりたてが行われた文である。(1a)は、「思い出す」の対象が「楽しかったこと」だということを表している。それに対して、(1b)は、「だけ」によって「思い出す」の対象が「楽しかったこと」に限られることを表している。つまり、「楽しかったこと」を焦点化しているのである。

- (1) a. 楽しかったことを思い出してください。
- b. 楽しかったことだけを思い出してください。

(2a)はとりたてが行われていない文である。(2b)は(2a)の「ドーナツを」に「でも」というとりたて助詞が付加され、「ドーナツを」に対してとりたてが行われた文である。(2a)は、「買ってくる」の対象が「ドーナツ」だということを表している。それに対して、(2b)は、「でも」によって「買ってくる」の対象が「ドーナツ」に限らず、「ハンバーガー」でも「サンドイッチ」でもよいことを表している。つまり、「ドーナツを」を非焦点化しているのである。

- (2) a. ドーナツを買ってきて。
- b. ドーナツでも買ってきて。

1.2 とりたての形態論

日本語では、とりたては主にとりたて助詞によって表される。とりたて助詞の中には(3a)の「だけ」のように名詞の後に付加されることがあるものもあるが、多くは(3b)の「も」のように名詞と格助詞で構成される名詞句に付加される。

- (3) a. 山田さんだけが暗証番号を知っていた。
 b. 田中さんにも暗証番号を教えた。

名詞と格助詞で構成される名詞句にとりたて助詞が付加されると、とりたて助詞の前の格助詞は削除されることがある。たとえば、とりたて助詞の前の格助詞「が」は(4a)のように削除される。とりたて助詞の前の格助詞「を」も(4b)のように削除されることが多い。しかし、とりたて助詞の前の格助詞「に」や「で」は(4c)のように削除されないことが多い。

- (4) a. 社長~~が~~さえその事実を知らなかった。
 b. オムレツ~~を~~ぐらい作れる。
 c. あのビルの屋上にもヘリポートがある。

とりたては、とりたて助詞のほかに、とりたて副詞で表されることもある。(5a)の「単に」や(5b)の「特に」のような副詞である。

- (5) a. この方法は単に費用が安いから選ばれたのではない。
 b. この曲は特にメロディーが美しい。

とりたて助詞はとりたてる語や句や節の後に付加されるが、とりたて副詞は基本的にとりたてる語や句や節の前に置かれる。(5a)の「単に」は「費用が安いから」をとりたてている。(5b)の「特に」は「メロディー」をとりたてている。

1.3 とりたての意味論

とりたてが表す意味は、大きく6つに分類できる。とりたて助詞が表す意味と、それぞれの意味を表す代表的なとりたて助詞は、(6)のとおりである。

- (6) 限定：「だけ」([英語訳])，「ばかり」([英語訳])

反限定 (例示) : 「でも」 ([英語訳]) , 「なんか」 ([英語訳])
極端 : 「さえ」 ([英語訳]) , 「まで」 ([英語訳])
反極端 (普通) : 「なんか」 ([英語訳]) , 「ぐらい」 ([英語訳])
類似 : 「も」 ([英語訳])
反類似 (対比) : 「は」 ([英語訳])

日本語では、この6つの意味を表すとりたて助詞が発達していて、実際によく使われる。英語では、限定と極端と類似を表す表現は発達していて、かなりよく使われるが、反限定、反極端、反類似を表す表現はあまり発達しておらず、あまり使われない。

とりたての意味論の詳細は、3.で述べる。

1.4 とりたての統語論

とりたて助詞は、いろいろな成分に付加されることがある。とりたて助詞が付加される成分とそれぞれの例は、(7)のとおりである。

- (7) 名詞 : 山田さんだけに (知らせた) ([英語訳])
名詞句 : 田中さんにまで (話したのか?) ([英語訳])
副詞 : はっきりとは (答えなかった) ([英語訳])
従属節 : 個性がないからこそ (みんなに好かれるのだ) ([英語訳])
述語 : 驚きも (しなかった) ([英語訳])

とりたて助詞の中には、呼応する述語に制約があるものがある。たとえば、極端を表す「さえ」は、(8a)のような推量を表す文には使える。しかし、(8b)のような意志を表す文には使えない。

- (8) a. 泥水さえ飲むだろう。
b. *泥水さえ飲もう。

とりたての統語論の詳細は、4.で述べる。

1.5 日本語文法におけるとりたての位置づけ

日本語ではとりたて助詞が発達している。さまざまな意味を表すとりたて助

詞があり、それらが実際によく使われる。

英語のようにとりたてが副詞で表される言語では、とりたては文法の重要な問題だとは認識されにくい。副詞は一つ一つが個性を持っているため、文法の問題としてではなく、語彙の問題として扱われやすいからである。

日本語では、とりたて助詞は格助詞と同じ助詞であるため、文法の問題として認識されやすい。とりたて助詞は、特に(9a)から(9c)のような特徴を持っているため、このような点に関心が集まり、文法という観点から研究が行われてきた。

(9) a. 一つのとりたて助詞が複数の意味を表すことがある。たとえば、「も」は類似を表すことも、極端を表すこともある。

b. 格助詞は基本的に名詞か名詞句にしか付加されないが、とりたて助詞はそれに加えて、副詞や従属節、述語にも付加されることがある。

c. 格助詞は述語のテンスやモダリティとの呼応に制約がないが、とりたて助詞は述語のテンスやモダリティとの呼応に制約があることがある。

全7巻で構成されている日本語記述文法研究会(編) (2003-2010) では、日本語の文法が(10)のように13の部に分けて記述されているが、その1つにとりたてが入っていることも日本語文法でのとりたての重要性を表している。

(10) 総論, 形態論, 格と構文, ヴォイス, アスペクト, テンス, 肯否, モダリティ, とりたて, 主題, 複文, 談話, 待遇表現

2. とりたての研究史

この節では、とりたてが係助詞、副助詞として研究されていた時代を含め、とりたて助詞ととりたて副詞の研究史について述べる。

2.1 係助詞と副助詞の研究

日本語の文法でとりたてという用語が一般的になったのは、30年ほど前からである。それ以前は、とりたては係助詞と副助詞として研究が行われていた。

日本語の古代語では、係り結びという現象があった。特定の助詞が使われた

ときに、それと呼応する文末の形が変わる現象である。たとえば、「こそ」が使われたときには、(11)のように文末の形が終止形ではなく、已然形になる。このように、文末の形を変える助詞を係助詞と呼んでいた。

- (11) 今こそ別れめ。
英語訳：今こそ別れよう。

一方、副助詞は、格助詞や係助詞と同じように名詞や名詞句に付加することができるが、格助詞とは違って格を表さず、また、係助詞とは違って係り結びに関係しない助詞である。名詞や名詞句だけでなく、いろいろな語句に付加され、限定、例示、類似などさまざまな意味を表すものである。(12)の「のみ」のようなものである。

- (12) からきことのみあり。
英語訳：つらいことばかりある。

近代語では係り結びという現象がなくなったため、係助詞と副助詞を分けて考える必然性が弱くなった。とりたて助詞というのは、係助詞と副助詞を合わせたものと考えてよい。

副助詞の中には、極端を表す「まで」は肯定述語とは呼応するが、否定述語とは呼応しないというような現象が見られる。したがって、係助詞と副助詞を分けなくて、とりたて助詞としてまとめて、個々のとりたて助詞の述語との呼応を分析するほうが合理的だと言える。

2.2 とりたて助詞の研究

とりたて助詞が詳しく研究されるようになったのは、沼田（1986）からだと考えてよいだろう。沼田は、とりたて助詞をとりたて詞と呼び、統語的な特徴や意味的な特徴を研究した。また、(13)のようなとりたて助詞について詳しい記述を行った。

- (13) も₁ (単純他者肯定) , も₂ (意外) , も₃ (柔らげ)
でも (選択的例示)
さえ₁ (意外) , さえ₂ (最低条件)

まで (意外)
だけ (限定)
ばかり (限定)
しか (限定)
こそ (特立)
くらい (最低限)
など₁ (柔らげ) , など₂ (否定的強調)
は (対比)

その後、寺村 (1991)、沼田 (2000)、澤田 (2007)、日本語記述文法研究会(編) (2009) をはじめとする多くの研究が現代日本語のとりたて助詞の分析を進めてきた。沼田・野田(編) (2003) は、とりたて助詞の歴史的変化や地理的変異の研究を行った。中西 (2012) は、日本語学習者のとりたて助詞の習得研究を行った。

2.3 とりたて副詞の研究

とりたて副詞についての最初の詳しい研究は、工藤 (1977) である。工藤は、とりたて副詞を限定副詞と呼び、とりたて副詞の意味を(14)のように分類して記述を行った。

- (14) 排他的限定：「ただ」「単に」など
選択指定：「まさに」「ほかでもなく」など
特立：「とくに」「ことに」など
おもだて：「主に」「主として」など
例示：「たとえば」
比較選択：「むしろ」「どちらかといえば」など
類推：「いわんや」「まして」など
見積り方・評価：「すくなくとも」「せめて」など

その後、さまざまな種類の副詞の研究は大きく進んだが、とりたて副詞の研究は非常に少ない。

3. とりたて助詞はどんな意味を表すか？

この節では、とりたて助詞が表す意味について述べる。とりたて助詞が表す意味を6つに分けて示す。

3.1 とりたて助詞が表す意味の概観

野田（2015）で述べられているように、とりたて助詞が表す意味は、表1のような3系列の2項対立として体系化することができる。

表1 とりたて助詞が表す意味

意味	とりたて助詞の例	意味	とりたて助詞の例
限定	だけ〔英語訳〕 ばかり〔英語訳〕 しか〔英語訳〕	反限定 (例示)	でも〔英語訳〕 なんか〔英語訳〕
極端	さえ〔英語訳〕 まで〔英語訳〕 でも〔英語訳〕	反極端 (普通)	なんか〔英語訳〕 ぐらい〔英語訳〕
類似	も〔英語訳〕	反類似 (対比)	は〔英語訳〕

表1に見られるように、第一に、「限定」と「反限定」が対立的な意味を表す。「反限定」というのは「例示」ということである。第二に、「極端」と「反極端」が対立的な意味を表す。「反極端」というのは「普通」ということである。第三に、「類似」と「反類似」が対立的な意味を表す。「反類似」というのは「対比」ということである。

3.2から3.7では、「限定」「反限定」「極端」「反極端」「類似」「反類似」のとりたて助詞が表す意味について順に述べる。また、同じ意味のカテゴリーに複数のとりたて助詞があるときには、それぞれのとりたて助詞の違いについても述べる。

3.2 限定を表すとりたて助詞

とりたて助詞「だけ」「しか」「ばかり」などは、「限定」を表す。「限定」というのは、該当するものはそれに限られ、他のものは該当しないということである。

(15a)と(15b)では、それぞれ限定を表すとりたて助詞「だけ」と「しか」が使

われている。どちらの文も、「作っているのはリンゴに限られ、それ以外は作っていない」という意味を表している。

- (15) a. この農場ではリンゴだけを作っている。
 b. この農場ではリンゴしか作っていない。

「だけ」と「しか」の違いは、何に重点をおいて述べているかという点である。「だけ」が使われている(15a)は「作っているのはリンゴに限られる」ことに重点をおいて述べられている。一方、「しか」が使われている(15b)は「リンゴ以外は作っていない」ことに重点をおいて述べられている。

そのような違いがあるため、(15a)の後には(16a)のような文が続くほうが(16b)のような文が続くより自然である。反対に、(15b)の後には(16b)のような文が続くほうが(16a)のような文が続くより自然である。

- (16) a. だから、従業員はリンゴの栽培のことをよく知っている。
 b. だから、従業員は他の果物の栽培のことを知らない。

「ばかり」も限定を表すが、必ずしも「他のものは該当しない」という意味を強く表すわけではない。「ばかり」が使われている(17a)が表している意味は、「彼はゲームをしていることが非常に多い」ということである。「彼はゲーム以外のことはまったくしていない」ということではない。「だけ」が使われている(17b)と「しか」が使われている(17c)がやや不自然になるのは、「彼はゲーム以外のことはまったくしていない」という意味になるからである。現実的にはそのようなことは考えにくいので、不自然に感じるのである。

- (17) a. 彼は毎日ゲームばかりしている。
 b. ?彼は毎日ゲームだけしている。
 c. ?彼は毎日ゲームしかしていない。

なお、「ばかり」は何回も起きる事態や長い時間続く事態を表す文で使われることが多い。

日本語だけでなく、他の多くの言語にも限定を表すとりたて表現がある。英語には、「only」「merely」「alone」などがある。ただし、どのような文脈で限定

を表すとりたて表現が使われるかは言語によって違うことがある。

3.3 反限定を表すとりたて助詞

とりたて助詞「でも」「なんか」などは、「反限定」を表す。「反限定」というのは、それに限定しないということである。つまり、例示するということがある。

(18a)では、反限定、つまり例示を表すとりたて助詞「でも」が使われている。この「でも」は、飲む対象はコーヒーに限られないということを表している。つまり、紅茶でもジュースでもよいということである。反限定を表す「でも」が使われていない(18b)では、飲む対象はコーヒーに限られる。つまり、紅茶やジュースの可能性は考えられていない。

- (18) a. コーヒーでも飲みましょうか。
 b. コーヒーを飲みましょうか。

とりたて助詞「でも」「なんか」は、反限定を表す専用の形式ではない。「でも」は極端の意味を表すこともあり、「なんか」は反極端の意味を表すこともある。極端を表すとりたて助詞については3.4で、反極端を表すとりたて助詞については3.5で述べる。

日本語には反限定を表すとりたて表現があるが、反限定を表すとりたて表現があまり使われない言語も多い。英語には、反限定を表す副詞のとりたて表現がなく、「or something」などを使うしかない。

英語では、日本語に比べ、例示だということを明示しなくても、語用論的に例示の意味を表しやすい。英語では、「or something」などを使わない(19a)のような文が「紅茶でもジュースでもよい」という意味を表すことがある。それに対して、日本語では、「でも」などを使わない(19b)のような文が「紅茶でもジュースでもよい」という意味を表すのは難しい。

- (19) a. [英語訳] コーヒーを飲みましょうか。
 b. コーヒーを飲みましょうか。

3.4 極端を表すとりたて助詞

とりたて助詞「さえ」「まで」「でも」などは、「極端」を表す。「極端」とい

うのは、もっとも該当しそうでないものが該当するということである。もっとも該当しそうでないものが該当するので、他のものも該当することになる。

(20)では、極端を表すとりたて助詞「さえ」が使われている。この文は、思うこととして、もっとも該当しないと考えられる「優勝する」と思ったという意味を表している。この場合、ベスト8に入ることやベスト4に入るとは当然思ったという意味が感じられる。

(20) 試合前は自分が優勝するとさえ思った。

「まで」も極端を表す。(21)は、自分で作るものとして、もっとも該当しないと考えられる「アイスクリーム」を作るという意味を表している。この場合、ゆで卵やサラダは当然作るという意味が感じられる。

(21) 彼はアイスクリームまで自分で作る。

「まで」は、「さえ」とは違って、否定文では基本的に使われない。そのため、「まで」が使われている否定文(22a)は非常に不自然である。(22a)の「まで」を「さえ」に変えた(22b)は、自然である。

(22) a. *彼はゆで卵まで自分で作れない。
b. 彼はゆで卵さえ自分で作れない。

「でも」も極端を表す。(23)は、こんな病気を知らない人として、もっとも該当しないと考えられる「医者」が知らないという意味を表している。この場合、一般人や薬剤師は当然知らないという意味が感じられる。

(23) 医者でもこんな病気は知らない。

「でも」は、元来「であっても」という仮定を表す形式である。(24)は、「その人が医者であっても、その人はこんな病気は知らない」という意味を表す。そのため、過去に起きたできごとを表す文では使われない。

日本語だけでなく、他の多くの言語にも極端を表すとりたて表現がある。英語には、「even」がある。ただし、どのような文脈で限定を表すとりたて表現が

使われるかは言語によって違うことがある。

3.5 反極端を表すとりたて助詞

とりたて助詞「なんか」「ぐらい」などは、「反極端」を表す。「反極端」というのは、もっとも該当しそうなものが該当するということである。もっとも該当しそうなものは該当するが、他のものは該当しないことになる。

(24)では、反極端を表すとりたて助詞「なんか」が使われている。この文は、毎日していることとして、もっとも該当すると考えられる「ジョギング」をしているという意味を表している。この場合、毎日テニスをしたりゴルフをしたりはしていないという意味が感じられる。

(24) ジョギングなんて毎日している。

「ぐらい」も反極端を表す。(25)は、吹ける楽器として、もっとも該当すると考えられる「ハーモニカ」を吹けるという意味を表している。この場合、フルートやトランペットは吹けないという意味が感じられる。

(25) ハーモニカぐらい吹ける。

「ぐらい」は、「なんか」とは違って、否定文では基本的に使われない。そのため、「ぐらい」が使われている否定文(26a)は非常に不自然である。(26a)の「ぐらい」を「なんか」に変えた(26b)は、自然である。

(26) a. *トランペットぐらい吹けない。
b. トランペットなんか吹けない。

日本語には反極端を表すとりたて表現があるが、反極端を表すとりたて表現があまり使われない言語も多い。英語には、反極端を表す典型的なとりたて表現はない。文脈によっては「at least」「only」などによって同じような意味を表わせることがあるだけである。

英語では、日本語に比べ、反極端だということを明示しなくても、語用論的にそのような意味を表すことがある。英語では、文脈によっては(27a)のような文が語用論的に「わずか1分であれば、待てる」という意味を表すことがある。

それに対して、日本語では、「ぐらい」を使わない(27b)のような文はやや不自然になる。(27c)のような文のほうが自然である。

- (27) a. [英語訳] 急いでいるが、1分待てる。
b. ?急いでいるが、1分待てる。
c. 急いでいるが、1分ぐらい待てる。

3.6 類似を表すとりたて助詞

とりたて助詞「も」は、「類似」を表す。「類似」というのは、「同じ」か「似ている」ということである。

(28a)では、2番目の文の述語は最初の文の述語と同じ「医者だ」である。このような場合、(28a)のように、2番目の文の主語「兄は」には類似を表すとりたて助詞「も」を付けなければならない。(28b)のように、「も」を付けない文は不自然である。

- (28) a. 姉は医者だ。兄も医者だ。
b. 姉は医者だ。#兄は医者だ。

類似のとりたて助詞が使われるかどうかは、文脈によって変わる。(29a)では「兄」にとりたて助詞「も」が付いていない。「姉」と「兄」の仕事の違いを述べる文脈で使われているからである。(29b)では「兄」にとりたて助詞「も」が付いている。「姉」と「兄」が同じ医療関係者だということを述べる文脈で使われているからである。

- (29) a. 姉は医者だ。兄は看護師だ。二人は同じ病院で働いているが、違う仕事をしている。
b. 姉は医者だ。兄も看護師だ。だから、体の具合が悪くなくても、安心だ。

日本語だけでなく、他の多くの言語にも類似を表すとりたて表現がある。英語には、「too」「also」がある。否定文に使われる「either」「neither」もある。ただし、どのような文脈で類似を表すとりたて表現が使われるかは言語によって違うことがある。

3.7 反類似を表すとりたて助詞

とりたて助詞「は」は、「反類似」を表す。「反類似」というのは、似ていないということである。つまり、対比ということである。

(30a)では、2番目の文の述語は「飲まなかった」である。最初の文の述語「飲んだ」と対比的である。このような場合、(30a)のように、最初の文の「コーラを」と2番目の文の「ビールを」には反類似を表すとりたて助詞「は」を付けなければならない。(30b)のように、「は」を付けない文は不自然である。

- (30) a. 私はコーラは飲んだが、ビールは飲まなかった。
 b. *私はコーラを飲んだが、ビールを飲まなかった。

対比を表すとりたて助詞「は」は、文の主題を表す助詞「は」と同じ形をしている。(30a)の主題は「私は」であるので、「コーラは」「ビールは」は主題ではない。「コーラは」「ビールは」が対比の意味を表しているのは明らかである。

一方、(31a)の「弟は」は主題を表すだけで、対比の意味は表していない。また、(31b)の「私は」「弟は」は主題を表すと同時に、対比の意味も表していると考えられる。

- (31) a. 弟は東京で生まれた。
 b. 私は大阪で生まれたが、弟は東京で生まれた。

日本語には反類似を表すとりたて表現があるが、反類似を表すとりたて表現がない言語も多い。英語には、反類似を表すとりたて表現がなく、対比の意味はプロミネンスで表すしかない。

4. とりたて助詞はどんな成分に付加されるか？

この節では、とりたて助詞が文の中のどんな成分に付加されるかについて述べる。とりたて助詞が付加される成分を5つに分けて示す。

4.1 とりたて助詞が付加される成分の概観

とりたて助詞が付加される成分は、表2のように5つに分けることができる。

表2 とりたて助詞が付加される成分

文の成分	例
名詞	山田さんだけに (知らせた) ([英語訳])
名詞句	田中さんにまで (話したのか?) ([英語訳])
副詞	はっきりとは (答えなかった) ([英語訳])
従属節	個性がないからこそ (みんなに好かれるのだ) ([英語訳])
述語	驚きも (しなかった) ([英語訳])

4.2 から 4.6 では、とりたて助詞が「名詞」「名詞句」「副詞」「従属節」「述語」に付加される場合について順に述べる。

4.2 名詞に付加されるとりたて助詞

とりたて助詞は、名詞に付加されることがある。(32)では、名詞「山田さん」に限定を表すとりたて助詞「だけ」が付加されている。

(32) 調査結果は山田さんだけに知らせた。

名詞に付加することができるとりたて助詞は、限定を表す「だけ」のほか、「ばかり」「まで」「なんか」などに限られる。「だけ」と同じように限定を表すとりたて助詞でも、「しか」を名詞に付加することは、(33)のように、できない。

(33) *調査結果は山田さんしかに知らせなかった。

4.3 名詞句に付加されるとりたて助詞

とりたて助詞は、名詞句に付加されることがある。(34)では、名詞と格助詞で構成されている名詞句「田中さんに」に極端を表すとりたて助詞「まで」が付加されている。

(34) その秘密を田中さんにまで話したのか？

名詞句にはどのとりたて助詞も基本的に付加することができる。ただし、格助詞の「が」か「を」を含む名詞句にとりたて助詞を付加したときには、基本的に(35a)のように格助詞「が」「を」を残すことはできない。(35b)のように格助詞「が」「を」は削除される。

- (35) a. *田中さんにその秘密をまで話したのか？
b. 田中さんにその秘密まで話したのか？

なお、(36a)のようにとりたて助詞が名詞句に付加された場合の意味と、(36b)のようにとりたて助詞が名詞に付加された場合（4.2 参照）の意味は、基本的に変わらない。

- (36) a. 調査結果は山田さんにだけ知らせた。
b. 調査結果は山田さんだけに知らせた。 (= (32))

4.4 副詞に付加されるとりたて助詞

とりたて助詞は、副詞に付加されることがある。(37)では、副詞「はっきりと」に非類似（対比）を表すとりたて助詞「は」が付加されている。

- (37) 山田さんはその質問にはっきりとは答えなかった。

とりたて助詞は、どんな副詞にも付加できるわけではない。(37)のような様態を表す副詞や、(38a)のような数量を表す副詞には付加しやすい。(38b)のようなモダリティを表す副詞や、(38c)のような程度を表す副詞に付加することはできない。

- (38) a. スープを少しだけ飲んだ。
b. *たぶんだけ明日は雨が降る。
c. *その公園はとともまで広がった。

4.5 従属節に付加されるとりたて助詞

とりたて助詞は、従属節に付加されることがある。(39)では、理由を表す従属節「個性がないから」に限定を表すとりたて助詞「こそ」が付加されている。

(39) このバッグは個性がないからこそ、みんなに好かれるのだ。

従属節の中には、時間を表す従属節のようにさまざまなとりたて助詞が付加できるものがある。(40a)は、時間を表す従属節「～とき」に「ぐらい」が付加された例である。一方、理由を表す従属節のように、ほとんどとりたて助詞が付加できないものもある。(40b)のように、理由を表す従属節「～ので」にはとりたて助詞を付加できない。

(40) a. 食事をしているときぐらい、仕事の話をするのはやめよう。

b. *疲れたのでだけ、早く家に帰りたい。

4.6 述語に付加されるとりたて助詞

とりたて助詞は、述語に付加されることがある。(41)では、述語「驚かなかった」に極端を表すとりたて助詞「も」が付加されている。

(41) そんなことには驚きもしなかった。

とりたて助詞が動詞に付加されるときには、(41)のように、動詞の連用形の後にとりたて助詞が付加され、その後に形式動詞「する」が続く。動詞が「～ている」「～てくれる」など「～て」を含む形のときは、(42)のように「～て」の後にとりたて助詞が付加される。

(42) 仏教についてのエッセーはまだ書き始めてさえいない。

とりたて助詞が形容詞（イ形容詞）に付加されるときには、(43a)のように、形容詞の連用形の後にとりたて助詞が付加され、その後に形式動詞「ある」が続く。(43a)では「ある」の否定形「ない」が使われている。とりたて助詞が形容動詞（ナ形容詞）や名詞述語に付加されるときは、(43b)のように、形容動詞語幹や名詞の後に「で」を置き、その後にとりたて助詞が付加され、その後に形式動詞「ある」が続く。

- (43) a. 山の上でも寒くはなかった。
 b. この料理は健康的でもある。

5. とりたて助詞は述語のどの階層と呼応するか？

この節では、とりたて助詞が述語のどの階層と呼応するかについて述べる。とりたて助詞と呼応する述語の階層を6つに分けて示す。

5.1 とりたて助詞と呼応する階層の概観

とりたて助詞が付加された格成分や副詞、従属節は、述語を修飾する。述語の内部は、(44a)のような階層構造になっていると考えられる。(44b)は、(44a)の構造に対応する述語の例である。

- (44) a. 語幹 — ヴォイス — アスペクト — 肯定否定 — テンス —
 事態に対するムード — 聞き手に対するムード
 b. 閉め — られ — てい — なかっ — た
 ようだ — ね

これ以外にも、述語の内部では言語形式との対応が表面的には見えないが、現実性の階層があると考えられる。仮定の事態かどうかを表し分ける階層である。「～たら」や「～(れ)ば」のような仮定条件を表す従属節と呼応していると考えられる階層である。

野田(1995)で述べられているように、とりたて助詞が付加された格成分や副詞、従属節は、このような述語のどれかの階層と呼応していると考えられることができる。

たとえば、「さえ」と「でも」はどちらも極端を表すことができるが、述語のどの階層と呼応するかが違う。「さえ」は(45a)のような推量を表す文には使えるが、(45b)のような意志を表す文には使えない。

- (45) a. 泥水さえ飲むだろう。
 b. *泥水さえ飲もう。

これは、「さえ」が推量か意志かという事態に対するムードを選択するということである。このことから、極端を表す「さえ」は事態に対するムードの階

層と呼応すると考えることができる。

一方、「でも」は(46a)のような推量を表す文にも、(46b)のような意志を表す文にも使える。

- (46) a. 泥水でも飲むだろう。
b. 泥水でも飲もう。

これは、「でも」が推量か意志かという、事態に対するムードを選択しないということである。このことから、極端を表す「でも」は事態に対するムードの階層と呼応しないと考えることができる。極端を表す「でも」は、事態に対するムードの階層より内側にある現実性の階層と呼応すると考えられるが、詳しいことは5.5で述べる。

とりたて助詞が呼応する述語の階層は、表3のように6つに分けることができる。

表3 とりたて助詞が呼応する述語の階層

述語の階層	とりたて助詞の例
語幹の階層	だけ (限定) ([英語訳])
アスペクトの階層	ばかり (限定) ([英語訳])
肯定否定の階層	しか (限定) ([英語訳]) は (反類似) ([英語訳])
現実性の階層	なら (限定) ([英語訳]) でも (極端) ([英語訳])
事態に対するムードの階層	でも (反限定) ([英語訳]) さえ (極端) ([英語訳])
聞き手に対するムードの階層	こそ (限定) ([英語訳]) も (反限定) ([英語訳])

5.2から3.7では、「語幹の階層」「アスペクトの階層」「肯定否定の階層」「現実性の階層」「事態に対するムードの階層」「聞き手に対するムードの階層」と呼応するとりたて助詞について順に述べる。

5.2 語幹の階層と呼応するとりたて助詞

(47)のような限定を表すとりたて助詞「だけ」は、語幹の階層と呼応すると考えられる。

(47) 彼だけに知らせた。

「だけ」はどんな文にでも使えるので、述語のどの階層と呼応するかがわかりにくい。しかし、間接的な証拠から語幹の階層と呼応すると考えることができる。

第1の間接的な証拠は、「だけ」は格助詞の後ではなく名詞のすぐ後に付加することができることである。格助詞が付加される前の段階の名詞は、格が決まる前の段階の名詞である。格が決まる前の名詞は、語幹の階層と呼応する。そのため、格が決まる前の名詞に付加される「だけ」は語幹の階層と呼応する可能性があると言える。

第2の間接的な証拠は、「だけ」は(48)のように「～ながら」節の内部に現れることである。野田(2002)によると、「～ながら」節の内部に現れる成分は、語幹の階層と呼応するのが一般的である。

(48) 前だけ見ながら車を運転するのは危ない。

このような間接的な証拠から、限定を表す「だけ」は述語の階層の中でいちばん内側にある語幹の階層と呼応すると考えることができる。

5.3 アスペクトの階層と呼応するとりたて助詞

(49)のような限定を表すとりたて助詞「ばかり」は、アスペクトの階層と呼応すると考えられる。

(49) 両親は弟ばかりかわいがる。

「ばかり」は(50a)のような継続的・反復的なアスペクトを表す文には使えるが、(50b)のような瞬間的なアスペクトを表す文には使えない。

(50) a. 学生のとときはハンバーガーばかり食べていた。

- b. *今朝7時にハンバーガーばかり食べた。

これは、「ばかり」が継続的・反復的か瞬間的かというアスペクトを選択するということである。このことから、限定を表す「ばかり」はアスペクトの階層と呼応すると考えることができる。

5.4 肯定否定の階層と呼応するとりたて助詞

(51a)のような限定を表すとりたて助詞「しか」や、(51b)のような反類似（対比）を表すとりたて助詞「は」は、肯定否定の階層と呼応すると考えられる。

- (51) a. 彼にしか知らせなかった。
a. 魚は食べるが、肉は食べない。

たとえば、「しか」は(52a)のような否定を表す文には使えるが、(52b)のような肯定を表す文には使えない。

- (52) a. 入会金しか要らない。
b. *入会金しか要る。

「しか」は、(23a)のように、「ない」という文法的な否定形式を持っている述語としか呼応しない。(53)のように、語彙的には否定的な意味を持っていても文法的には否定形式を持っていない述語とは呼応しない。

- (53) a. *入会金しか不要だ。

これは、「しか」が肯定か否定かを選択するということである。このことから、限定を表す「しか」は肯定否定の階層と呼応すると考えることができる。

5.5 現実性の階層と呼応するとりたて助詞

(54)のような限定を表すとりたて助詞「なら」は、現実性の階層と呼応すると考えられる。

- (54) 浜田さんとなら共演する。

「なら」は、(54)のように、現実には起きていない仮定の事態を表す文に使われる。(55)のように「なら」が過去を表す文で使われても、現実には起きたことを表すわけではない。「浜田さんと」という条件が満たされれば共演したはずだが、その条件が満たされなかったので共演しなかったという仮定的な意味になる。

(55) 浜田さんとなら共演した。

これは、「なら」が現実の事態か仮定の事態かを選択するということである。このことから、限定を表す「なら」は現実性の階層と呼応すると考えることができる。

5.6 事態に対するムードの階層と呼応するとりたて助詞

(56)のような反限定(例示)を表すとりたて助詞「でも」は、事態に対するムードの階層と呼応すると考えられる。

(56) お茶でも飲もう。

「でも」は(56)のような意志を表す文や(57a)のような希望を表す文には使えるが、(57b)のような事実を表す文には使えない。

(57) a. お茶でも飲みたい。
b. *お茶でも飲んだ。

これは、「でも」が、意志や希望のように真偽が判断できないことを表すか、事実のように真偽を判断できることを表すかという事態に対するムードを選択するということである。このことから、反限定(例示)を表す「でも」は事態に対するムードの階層と呼応すると考えることができる。

5.7 聞き手に対するムードの階層と呼応するとりたて助詞

(58)のような限定を表すとりたて助詞「こそ」は、聞き手に対するムードの階層と呼応すると考えられる。

(58) 山田さんこそ会長にふさわしい。

「こそ」は(58)のような主張を表す文には使えるが、(59)のような質問を表す文には使えない。

(59) *山田さんこそ会長にふさわしい？

これは、「こそ」が、主張を表すか質問を表すかという聞き手に対するムードを選択するということである。このことから、限定を表す「こそ」は聞き手に対するムードの階層と呼応すると考えることができる。

6. とりたて副詞

ここまでは主にとりたて助詞について述べてきたが、この節ではとりたて副詞について述べる。

6.1 とりたて副詞の意味論

とりたて副詞が表す意味は、表4のように、大きく「限定」と「特立」に分けられる。

表4 とりたて副詞が表す意味

意味	とりたて副詞の例
限定	単に ([英語訳]) ただ ([英語訳]) たった ([英語訳])
特立	特に ([英語訳]) とりわけ ([英語訳]) 主に ([英語訳])

とりたて副詞「単に」「ただ」「たった」などは、「限定」を表す。(60)では、限定を表すとりたて副詞「単に」が使われている。「していたのは外の景色を見ることに限られ、それ以外のことはしていない」という意味を表している。限定を表すとりたて副詞は、(60)のように限定を表すとりたて助詞「だけ」といっしょに使われることもある。

(60) 単に外の景色を見ていただけです。

限定のとりたて副詞のうち「たった」は、(61)のように、数量的な表現しかとりたてることができない。

(61) たった一人の兄弟が亡くなった。

とりたて副詞「特に」「とりわけ」「主に」などは、「特立」を表す。(62)では、特立を表すとりたて副詞「特に」が使われている。「いちばんよく釣れる魚はサバであり、それ以外の魚はサバほどは釣れない」という意味を表している。

(62) このあたりではいろいろな魚が釣れるが、特にサバがよく釣れる。

6.2 とりたて副詞の統語論

とりたての副詞は、基本的に、焦点を当てる成分のすぐ前に置かれる。(63a)では「特に」はすぐ後の「山では」に焦点を当てている。語順を変えた次の(63b)では、「特に」はすぐ後の「天気の変化に」に焦点を当てている。

- (63) a. 特に山では天気の変化に気をつけてください。
b. 山では特に天気の変化に気をつけてください。

ただし、「特に」や「とりわけ」は、焦点を当てる成分のすぐ後に置かれることもある。(64)では、すぐ後にある「気をつけてください」ではなく、すぐ前にある「天気の変化に」に焦点を当てている。

(64) 山では天気の変化に特に気をつけてください。

7. 今後の課題

この節では、今後の課題について、日本語のとりたての研究と、他の言語のとりたてとの対照研究に分けて述べる。

7.1 日本語のとりたての研究

日本語のとりたてについて今後さらなる研究が必要な課題は、(65a)と(65b)である。

- (65) a. とりたて副詞の研究
- b. とりたての意味の体系化

(65a)は、次のようなことである。とりたて副詞の研究はとりたて助詞の研究に比べて非常に少ない。今後、とりたて副詞の範囲や、とりたて副詞が使われるときの条件、また、とりたて副詞ととりたて助詞の使い分けなどの研究をさらに進めていく必要がある。

(65b)は、次のようなことである。個々のとりたて助詞の意味は詳しく研究されてきた。しかし、とりたて助詞ととりたて副詞が表す意味を体系化することはほとんど行われてこなかった。今後、そのような研究を進めていく必要がある。

7.2 他の言語のとりたてとの対照研究

日本語のとりたてと他の言語のとりたての対照研究は、これまであまり活発に行われてこなかった。対照研究として今後さらなる研究が必要な課題は、特に(66a)から(66c)である。

- (66) a. とりたて形式が表す意味
- b. とりたて形式と呼応する述語の制約
- c. とりたて形式を使うかどうかの条件

(66a)は、次のようなことである。とりたてを表す形式、つまりとりたて助詞やとりたて副詞が表す意味は、言語によって違う。日本語ではとりたて形式で表せる意味が他の言語では表せないことがある。逆に、日本ではとりたて形式で表せない意味が他の言語では表せることがある。今後、さまざまな言語でとりたて形式が表す意味を研究する必要がある。

(66b)は、次のようなことである。日本語のとりたて助詞は呼応する述語に制約があることがある。たとえば、5.1で述べたように、極端を表す「さえ」は推量を表す文には使えるが、意志を表す文には使えない。今後、さまざまな言語

でとりたて形式と呼応する述語の制約を研究する必要がある。

(66c)は、次のようなことである。同じ文脈でも日本語ではとりたて形式を使うが、他の言語ではとりたて形式を使わないことがある。逆に、日本ではとりたて形式を使わないが、他の言語ではとりたて形式を使うことがある。今後、さまざまな言語でとりたて形式を使うかどうかの条件を研究する必要がある。

参考文献

- 工藤浩. 1977. 限定副詞の機能. 松村明教授還暦記念会(編), 国語学と国語史. 東京: 明治書院.
- 中西久実子. 2012. 現代日本語のとりたて助詞と習得. 東京: ひつじ書房.
- 日本語記述文法研究会(編). 2003-2010. 現代日本語文法. 全7巻. 東京: くろしお出版.
- 日本語記述文法研究会(編). 2009. 現代日本語文法 5: とりたて・主題. 東京: くろしお出版.
- 野田尚史. 1995. 文の階層構造からみた主題ととりたて. 益岡隆志・野田尚史・沼田善子(編), 日本語の主題と取り立て. 東京: くろしお出版.
- 野田尚史. 2000. 単文・複文とテキスト. 野田尚史・益岡隆志・佐久間まゆみ・田窪行則, 日本語の文法 4: 複文と談話. 東京: 岩波書店.
- 野田尚史. 2015. 日本語とスペイン語のとりたて表現の意味体系. 日本語文法 15(2).
- 沼田善子. 1986. とりたて詞. 奥津敬一郎・沼田善子・杉本武, いわゆる日本語助詞の研究. 東京: 凡人社.
- 沼田善子. 2000. とりたて. 金水敏・工藤真由美・沼田善子, 日本語の文法 2: 時・否定と取り立て. 東京: 岩波書店.
- 沼田善子・野田尚史(編). 2003. 日本語のとりたて: 現代語と歴史的変化・地理的変異. 東京: くろしお出版.
- 澤田美恵子. 2007. 現代日本語における「とりたて助詞」の研究. 東京: くろしお出版.
- 寺村秀夫. 1991. 日本語のシンタクスと意味Ⅲ. 東京: くろしお出版.